

きくち文昭の活動記録

菊池文昭の県議会での役職は次のとおりです

- 農林水産常任委員会委員
- 未来を担う人材育成対策特別委員会
- 山形県都市計画審議会委員

県政についてご意見・ご質問等がございましたらお気軽にお寄せください

TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067
E-mail:f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

- 自宅：〒990-0065 山形市双月町 250-3
- 県議会：〒990-0023 山形市松波2-8-1 県議会北棟4階
TEL.023-630-3211(代) 内線4404 FAX.023-630-2833



きくち文昭 県議会レポート

459番

平成30年12月号 No.14

発行・編集 山形県議会議員 菊池文昭 〒990-0065 山形市双月町 250-3
TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067 E-mail f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp



尾花沢市で流雪溝整備の要望を聞く

青森県深浦町で海洋サーモンの養殖状況を調査

五所川原市で津軽鉄道の可能性について意見交換を行う

秋田県小坂町観光フォーラムに参加。細越町長と

盛岡市で町家を活かした十三日(とみか)の取組みを調査

酒田市でイカ釣り漁船団出航式の参加者に漁獲高等の推移について聞く

人口減少対策に取組む遊佐町の定住促進と企業誘致の取組みを調査

新庄市マルミツ産業(株)で環境に配慮した先進的なし尿処理技術を調査

秋田港での外航クルーズ船ターミナル整備状況を調査

青森県観光協会でインバウンド向けスマホ決済の取組みについて意見交換を行う

山形県立ゆきわり養護学校を訪問し入学生の生活環境の調査

小国町にある小玉川岩魚ランドで当地サーモンの生育状況を調査

宮城県石巻市 いしのまき農協の真空ライスパック施設の整備状況を視察

宮城県気仙沼市民間交番「気仙沼ほうはんセンター」の取組みを調査

新潟県上市観光協会での地域の建築物や祭りを活かした地域造りについて意見交換を行う

新潟県長岡市で観光フォーラムで観光振興への研修に参加

7月・8月最上地域集中豪雨被害現場を調査へ 9月定例会総額181億円2900万円補正を可決

全国的には西日本豪雨や北海道での地震等が相次ぎ、家屋等への被害、停電の発生、水道の停止、集落の孤立もある中、台風の進路予測や被害状況を注視する日が続きました。

これまでの降雨についての考えや予想が覆りました。安全に暮らせる地域や街をつくることの重要性を感じました。

8月9日には最上・庄内地域で例年にない集中豪雨と台風に見舞われ、置賜地域では雨が降らず渇水状況となり、県内では生命に危険を及ぼすような気温が続くなどの異常気象となりました。

8月初めの豪雨では戸沢村蔵岡地区に完成した排水ポンプの処理能力を超えた雨量となり、床上床下浸水が発生しました。田畑には土砂や流木の流入、畦(あぜ)の崩れ、河川脇の道路の欠損や今回の豪雨では最上全域に農業施設や河川に大きな被害がありました。更に台風21号は西洋梨を中心に落果が発生するなどの被害も発生しました。まずは復旧を最優先に取組み、とりわけ田んぼや畑が来年も引き続き生産できる環境整備が必要です。

今定例会では補正総額181億円のうち豪雨・渇水・台風被害などへの対応に114億円を計上しています。同行した若松かねしげ、横山信一参議院議員には国としての適切な支援と再発防止に向けた取組みを要望しました。他には

◎洪水浸水想定区域図(ハザードマップ)作成を1年前倒しする費用	8400万円
◎荘銀・日新製薬スタジアムの車いすでも観戦できるバリアフリー化	4000万円
◎インバウンド拡大に向けたプロモーション強化の費用	6500万円
◎県有施設のブロック塀の修繕・撤去と木製フェンス設置にかかる費用	6000万円
◎園芸試験場(寒河江市内)の機能強化と施設整備のための費用	1億1200万円

などの補正予算が可決しました。

県条例関係では稲・麦・大豆などの優良品種の低廉で安定供給を図るための山形県主要農作物種子条例の制定が可決されました。

山形県議会議員 きくち文昭



最上町長沢地区で河川堤防決壊による田畑への土石流入被害から農業再生産への要望を聞く



戸沢村蔵岡地区での被害について住民より状況を聞く



尾花沢市岩谷沢地区の橋梁被害の状況を調査

知ッところ情報 1

子ども虐待防止 オレンジリボン運動
http://www.orangeribbon.jp
認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-45-10 KTスクエア 4B

虐待かなと思ったら...
イチハヤク
189
児童相談所
全国共通ダイヤル

知ッところ情報 2

あおり運転に遭ったらすぐ110番!
自動車運転での異常な幅寄せや車間距離等でのあおり運転に遭ったら安全な場所へ移動し、進路を譲る。その上ですぐ警察へご連絡を! ドライブレコーダーの設置も役立ちますよ!

平成30年度 農林水産常任委員会の主な質問等

菊池委員 ご当地サーモン養殖に関する県の取組みと販売戦略はどうか。

水産振興課長 ご当地サーモンは、全国に数十種類以上あるが、本県では豊かな自然を持つ本県の森、川、海をつなぐ生態を持ち、品の良い肉質や色あいを持つサクラマスと、本県が養殖発祥の地と言われ成長の良いニジマス

菊池委員 GAP推進の課題は何か。

農業技術環境課長 ①GAPの取組への意識醸成②県普及指導員・JA営農指導員をGAP指導員として育成による指導体制の強化③国際水準GAPの認証取得について多額の費用を要するため、躊躇する農業者が多いことが課題だ。

菊池委員 高等教育におけるグローバルGAP等への取組みはどうか。

農政企画課長 農林大学校では、昨年度、稲作経営学科の学生が、農林大学校職員やコンサルタントの指導の下、穀物(米)で[ASIAGAP]の認証取得に取組んだ。

平成30年度 未来を担う人材育成対策特別委員会の主な質問等

菊池委員 医療的ケア児は地域ごとにサービスを受けられることが必要だ。医療関係者、学校や地域、施設等がそれぞれ連携し、医療的ケア児をサポートしていく体制が必要と考えるがどうか。

障がい福祉課長 今年3月に策定した県障がい児福祉計画において、ライフステージに合わせた支援を行っていくため、関係者の協議の場を設定することとし、今年度全市町村において設置を目指している。

菊池委員 医療的ケア児への支援における関係者による協議の場の設置と構成メンバーはどのような体制で取組むのか。

障がい福祉課長 協議の場については、総合支庁単位で早急に設置することとしている。設置方法については、新たに設けることも考えられるが、既存の協議会等の場を活用することも有効であることから、地域の実情を各総合支庁と相談しながら進めていきたい。

菊池委員 是非早急をお願いしたい。医療的ケア児に対する支援については、あらゆる分野が関わっており、総合的な領域であるため、関係部局が一丸となって取組んでほしい。

菊池委員 高校におけるスクールカウンセラー(SC)の利用状況はどうか。

高校教育課長 今年度は最重点校13校(年23回)、重点校12校(年18回)、一般校17校(年12回)に配置している。カウンセリングを受けた人数については、昨年度実績で1回あたり3.88人となっております。

菊池委員 若者が抱える様々な悩みに応えるためには、SNSを活用した相談体制も必要と考えるが、SCの数をもっと増やし、学校でしっかりと相談が受けられる体制づくりが必要と考えるがどうか。

高校教育課長 昨年度、県立高校全42校中28校において、SCの独自配置を行っている。SNSを活用した相談体制について、今年度試行する予定としている。

菊池委員 小中学校における就学援助制度の実施状況はどうか。

義務教育課長 就学援助制度については、市町村が実施主体となり、新入学児童生徒の学用品等の費用を支援している。入学前の費用が特に保護者の負担となっており、平成29年度から入学前に市町村が保護者に支給した学用品等についても対象となった。

菊池委員 平成29年度の全国的な実施状況は、小学校4割、中学校5割であり、入学前の支給を速やかに進めるべきだ。自治体の財政負担もあるが、県としても是非後押しし、推進してもらいたい。

くわしくは 山形県議会

検索 で検索できます

医療的ケアを要する子どもの環境整備について意見を聞く



医療的ケアを要する子どもの支援策について山形市内で意見交換を行う

放課後等デイサービス事業所「まなびのへや バンビーナ」で、利用している保護者からは行政の理解促進と、支援の充実と課題についてのお話を伺いました。この事業所では医療的ケアを要する子どもへの支援を行っています。

バス路線確保と物流の効率化が必要



秋田県庁で「貨客混載事業」の現状と課題について意見交換を行う

人口減少で利用者数の少ないバス路線の確保と物流の人手不足を一緒に解決しようと「貨客混載」事業を行っている秋田県を訪問。路線バスの空き席に荷物を載せて、終点から物流業者へ届ける取組みです。

再生可能エネルギーから水素を生成する取組で地域活性化を



福島市飯坂町で移動型水素ステーションの取組みを調査

福島県飯坂町で商用ベースでは日本初となる再生可能エネルギーを利用した移動式水素ステーション「ふくしまハイドロサプライ(株)」の供給状況を確認しました。

観光・防災拠点・地域活性化のための道の駅を



「道の駅よねざわ」での入り込み状況とインバウンドへの対応について意見交換を行う

「道の駅 米沢」がオープンし利用者数が100万人を超えました。東北中央自動車道栗子トンネル開通効果と置賜地域の伝統・文化の発信が功を奏しています。

世界農業遺産認定を通じた地域振興を



宮城県大崎市で「世界農業遺産」認定の取組みと今後の展開について意見交換を行う

宮城県大崎市では「大崎耕土」が世界農業遺産の認定になりました。厳しい環境の中で知恵を出し、助け合い支え合ってきた地域の伝統や文化を形成してきたことが評価につながったとの事です。

大規模災害時の病院船の利活用を



東京湾で病院船「マーシー」を視察

米国海軍所属病院船「マーシー」が東京湾に初寄港しました。病院船はこれまで海外での津波や地震などの大規模災害時に活躍しています。

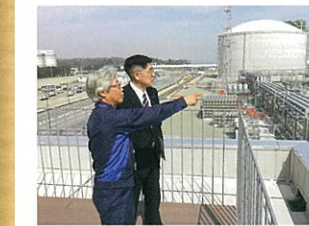
津波浸水被害防止の取組を調査



南三陸町で津波等での浸水を食い止める「自立式フラップゲート」の設置状況を確認

宮城県南三陸町では津波や高潮時に海水流入を電源がなくても自動で浮き上がる水門を導入。水が入り始めるとフラップゲートが自動で浮き上がるので、電源が要らず、これまでの水門のようにスイッチを押す人も要りません。

国内最大級LNG基地建設現場を視察



福島県新地町 石油資源開発(株)が施設建設中で国内最大級のLNG基地で整備状況を確認

福島県新地町でLNG(液化天然ガス)基地として国内最大規模で、完成時の供給能力は200万世帯分をカバーできます。

外航クルーズ船寄港で観光振興を



酒田港にて外航クルーズ船受け入れ状況を調査

英国船籍外航クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」が酒田港に寄港しました。全国的にクルーズ船の誘致に取組んでおり東北では青森港には20隻以上寄港しています。

人口減少と地域の将来について



山辺町作谷沢地区で人口減少と地域活性化についての意見交換を行う

山辺町作谷沢地区の活性化について意見交換を行いました。人口減少や少子化などの課題がありますが交流人口増加が必要です。